

～高野山ケーブルカーの夏の風物詩～
極楽橋駅に「風鈴トンネル」と「短冊記入台」を設置
高野山駅では係員が「^{きむえ}作務衣」姿でご案内します

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、世界遺産・高野山へ来訪されるお客さまに“夏の風情”をお楽しみいただくため、6月28日（木）から9月5日（水）まで、高野線の終着駅である極楽橋駅に「風鈴トンネル」を設置します（今年で6回目）。

この風鈴には、極楽橋駅に設置する「短冊記入台」で、お客さまに願いごとなどを記入していただいた短冊を飾ります。

また、極楽橋駅からケーブルカーで上った高野山駅では、7月1日（日）から8月26日（日）までの土・休日とお盆期間に、駅係員が「作務衣」を着用してお迎えます（今年で12回目）。

今年の夏は、神秘的な雰囲気漂う納涼にぴったりの霊場・高野山へお出掛けいただき、短冊に願いを託してください。

極楽橋駅「風鈴トンネル」・「短冊記入台」について

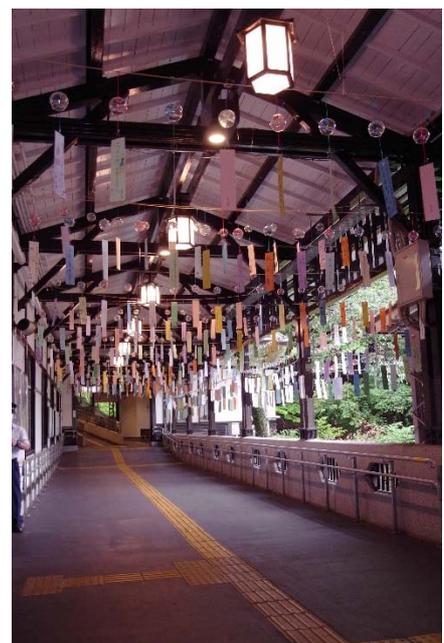
訪れたお客さまに願いごとなどを記入していただけるよう極楽橋駅構内に「短冊記入台」を設置します。記入いただいた短冊は、当社沿線の小学生・幼稚園児たちが願いごとなどを書いた短冊と合わせ、約500個の風鈴に吊るして駅の構内通路の装飾に使用し、「風鈴トンネル」を作ります。

1. 風鈴トンネル

期間：6月28日（木）から
9月5日（水）まで
場所：極楽橋駅の構内通路
（改札口付近～ケーブルカー乗車口）
個数：約500個

2. 短冊記入台

期間：6月23日（土）から
8月22日（水）まで
場所：極楽橋駅の駅務室出入り口付近



昨年の極楽橋駅「風鈴トンネル」

※風鈴に吊るす短冊は約2週間ごとに交換する予定です。

※お客さまに記入いただいた短冊は高野山内で実施される「高野の火祭り」のお焚き上げに奉納します。

高野山駅「作務衣」について

ケーブルカー山上の高野山駅では、7月1日（日）から8月26日（日）までの土・休日とお盆期間において、駅長をはじめ駅係員全員が、山内の僧侶などが労働（作務）をするときに着る「作務衣」を着用してお客さまをお迎えします。天下の霊場・高野山ならではの風情をお楽しみください。

1. 「作務衣」の着用期間

- (1) 7月1日（日）から8月26日（日）までの土・休日
- (2) お盆期間：8月13日（月）、14日（火）、15日（水）

2. 「作務衣」を着用する従業員

- (1) 高野山駅長：上着・ズボン・ぞうり着用 ※駅長は7月1日（日）のみの対応となります。
- (2) 高野山駅係員（全員）：上着のみ着用

3. 「作務衣」の色および素材

- (1) 色：男性用 しもねず色（グレー系）
女性用 わかくさ色（グリーン系）
- (2) 素材：麻混紡

※極楽橋駅と高野山駅の所在地は、ともに和歌山県伊都郡高野町国有林です。

◎お客さまのお問い合わせ先

南海テレホンセンター TEL：06-6643-1005（8：30～18：30）



作務衣姿でお待ちしています ※昨年の写真

以上